

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	尚学院公務員法律専門学校
設置者名	学校法人 尚学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	公務員・法律本科（4年制）	夜・通信	201時間	80時間	
	国際・教養本科（2年制）	夜・通信	80時間	80時間	
(備考) 2021年4月開校。今回の申請は開校初年度になります。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校HP（情報公開ページ）URL: <https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 :
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	尚学院公務員法律専門学校
設置者名	学校法人 尚学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校HP（情報公開ページ）URL: <https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師	3年	フィジカル・メンタルヘルスケア
非常勤	琉球大学名誉教授	3年	運営・企画
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	尚学院公務員法律専門学校
設置者名	学校法人 尚学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

○公務員・法律本科 (4年制)

中央大学法学部通信教育部の併修科目修得（本校の授業科目を一部単位互換）を目指し、法律科目を講義・メディア授業（オンデマンド又はリアルタイム）・スクーリングにて単位取得。また、公務員試験対策では知識の整理及び問題演習を行う。

専門学校教育として、キャリア・職業教育（各種検定試験）を行う。

○国際・教養本科 (2年制)

- ・日本語教師で海外実務経験者などによる実務に直結した学習内容を用意する。
- ・観光英検や TOEIC、日本語能力検定試験等、各種検定の受験機会を設ける。
- ・12月から2月末において次年度カリキュラム編成並びに担当講師のヒアリングを実施し3月末日をめどに構成完了。

授業計画書の公表方法	学校HP（情報公開ページ） URL https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
------------	---

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

○公務員・法律本科 (4年制)

出席率、課題・レポートの内容、課題の提出期限が守られているか、授業態度、試験の結果などを総合的に判断し、各学期終了時に評価し、評価は次のとおりとする。秀…90～100点、優…80～89点、良…70～89点、可…60～69点、不可…59点以下学期途中において休学、退学した場合、その学期の成績は評価しない。

○国際・教養本科 (2年制)

出席ならびに授業態度、提出物等を基準に評価する。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

尚学院公務員法律専門学校では、G P A制度を成績評価の指標として取り入れています。このG P A制度は、進級・卒業のための学習計画を立て、卒業後の進路目標に近づくためにどのようなことを続けていけばよいのか、何が足りないのか、何が必要なのか、自分を見据えたうえで課題を見つけ活用をすることをねらいとしています。G P A値は以下の式で算出されます。ただし、G P A値は四捨五入して、表記は小数第1位までとする。

$$G P A = \frac{\{(修得科目の単位数) \times (取得科目のG P)\}の総和}{総履修登録単位数}$$

実点	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	59点以下	課題未提出 追試未受験
成績評価	秀	優	良	可	不可	不可
G P	4	3	2	1	0	0

客観的な指標の 算出方法の公表方法	学校HP（情報公開ページ） URL https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
----------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

○公務員・法律本科（4年制）（以下の全ての条件）

- ・出席基準…履修時間 3400 単位時間以上（高度専門士）
- ・検定基準…3級以上の検定を3つ（中国語検定は4級）
- ・単位基準……公務員採用試験対策授業科目を全科目単位取得

○国際・教養本科（2年制）日本語ビジネスコース

- ・卒業基準：出席率 80%以上、検定 2つ以上取得していること。
総授業時数 1700 時間以上。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	学校HP（情報公開ページ） URL https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
----------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	尚学院公務員法律専門学校
設置者名	学校法人 尚学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	学校HP（情報公開ページ）
財産目録	URL :
事業報告書	https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
文化・教養		専門課程	公務員・法律本科		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
4年	昼	3400 単位時間	3040 単位時間 時間	単位時間 /単位	480 単位時間 時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		人	人	5人	5人	10人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 中央大学法学部通信教育課程と併修し、1・2年は教養・専門科目の基礎を学び、3年次より、本格的に専門分野を学ぶ。専門学校独自のキャリア職業教育（各種検定試験）も行っていく。
成績評価の基準・方法
(概要) 出席率、課題・レポート内容、課題提出期限が守られているか、授業態度、試験の結果などを総合的に判断し、各学期終了時に評価する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級基準は①履修時間 800 時間以上②3 級検定を 2 つ（1 年次）3 級以上の検定を 3 つ（2 年次）③公務員試験対策授業科目を全科目単位取得 卒業基準は①出席 1700 単位時間以上（2 年制）3400 単位時間以上（4 年制）②3 級以上の検定を 3 つ③公務員試験対策授業科目を全科目単位取得
学修支援等
(概要) 担当職員を配置し、公務研究にて「職種研究」より公務員としての職業観を学ばせる。また、個別面談、三者面談等により定期的に学修相談を行いサポートする。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）						
卒業者数 人 (%)	進学者数 0人 (%)	就職者数 (自営業を含む。) 0人 (%)	その他 人 (%)			
(主な就職、業界等)						
(就職指導内容) 担当職員を配置し、公務研究にて「職種研究」より公務員としての職業観を学ばせる。また、個別面談、三者面談等により定期的に学修相談を行いサポートする。						
(主な学修成果（資格・検定等）)						
(備考) (任意記載事項)						

中途退学の現状						
年度当初在学者数		年度の途中における退学者の数		中退率		
人		人		%		
(中途退学の主な理由)						
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当職員を配置し、定期的に個別面談・三者面談を実施し、学修相談を行う。						

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
文化教養		専門	国際・教養本科		○	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1760 単位時間／単位	1280 単位 時間／単位	単位時間 /単位	480 単位 時間／単位	単位時間 /単位
生徒総定員数 人		生徒実員 人	うち留学生数 人	専任教員数 5人	兼任教員数 1人	総教員数 6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
(概要)	
<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師で海外実務経験者などによる実務に直結した学習内容を用意する。 観光英検や TOEIC、日本語能力検定試験等、各種検定の受験機会を設ける。 12月から2月末において次年度カリキュラム編成並びに担当講師のヒアリングを実施し3月末日をめどに構成完了。 	
成績評価の基準・方法	
(概要)	
<ul style="list-style-type: none"> 出席ならびに授業態度、提出物等を基準に評価する。 	

卒業・進級の認定基準

(概要)

- ・進級基準：出席率 80%以上、検定 2つ以上取得していること。
- ・卒業基準：出席率 80%以上、検定 2つ以上取得していること。
総授業時数 1700 時間以上。

学修支援等

(概要)

- ・進学支援
- ・就職活動支援。
- ・各種行事等を行う。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)

(主な就職、業界等)

- ・ビジネスマナー講座、合同企業説明会への参加

(主な学修成果（資格・検定等）)

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
人	人	%

(中途退学の主な理由)

(中退防止・中退者支援のための取組)

- ・学業、進路、対人関係や不安、就職活動など学生のさまざまな悩みに対応し、退学や除籍に至るのを防ぐために、相談体制を整えて支援している。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
公務員・法律本科	100,000 円	570,000 円	198,000 円	別途、中央大学通信教育費
国際・教養本科	100,000 円	520,000 円	192,000 円	
修学支援（任意記載事項）				
学校HP（情報公開ページ）				
URL : https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法																					
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HP（情報公開ページ）（2021年度は初年度のため2月に公表予定） URL: https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/																					
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）																					
学校職員以外の5名以上の委員により年度内1回（2月）会議を実施する。学院長は、自己評価結果をこの会議で報告し、学校運営、教育活動、学修成果、教育環境、財務、法令順守等の項目に関する評価や指導、助言を委員達から得る機会を設ける。運営責任者により、学校関係者評価委員会による評価結果をまとめ報告書を作成し公表、教職員は、その結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めていく。																					
学校関係者評価の委員																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専業主婦</td> <td>2年</td> <td>本校保護者</td> </tr> <tr> <td>小学校教員</td> <td>2年</td> <td>本校卒業生</td> </tr> <tr> <td>那覇市立泊小学校PTA</td> <td>2年</td> <td>地域住民</td> </tr> <tr> <td>(有) 泊書籍</td> <td>2年</td> <td>地元企業関係者</td> </tr> <tr> <td>沖縄県立高校元校長</td> <td>2年</td> <td>高等学校関係者</td> </tr> <tr> <td>学校法人尚学学園理事</td> <td>2年</td> <td>その他教育に関する有識者</td> </tr> </tbody> </table>	所属	任期	種別	専業主婦	2年	本校保護者	小学校教員	2年	本校卒業生	那覇市立泊小学校PTA	2年	地域住民	(有) 泊書籍	2年	地元企業関係者	沖縄県立高校元校長	2年	高等学校関係者	学校法人尚学学園理事	2年	その他教育に関する有識者
所属	任期	種別																			
専業主婦	2年	本校保護者																			
小学校教員	2年	本校卒業生																			
那覇市立泊小学校PTA	2年	地域住民																			
(有) 泊書籍	2年	地元企業関係者																			
沖縄県立高校元校長	2年	高等学校関係者																			
学校法人尚学学園理事	2年	その他教育に関する有識者																			
学校関係者評価結果の公表方法																					
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HP（情報公開ページ）（2021年度は初年度のため2月に公表予定） URL: https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/																					
第三者による学校評価（任意記載事項）																					

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校HP（情報公開ページ） URL: https://www.spula.ac.jp/schoolinfo/disclose/
--

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。